



FranklinCovey ニュース

発行：フランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社

「7つの習慣」大賞、開催

フランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社は、『7つの習慣』を一人でも多くの方に知ってもらい、より仕事や人生に役立てていただくために『7つの習慣』大賞を創設しました。

書籍『7つの習慣』を読んだ方、研修に参加された方は多かれ少なかれ、その後モノの見方や考え方が変わったという経験をお持ちのはず。そんなエピソードを募集します。

『7つの習慣』を読んでいないという方が応募できるコースもあります。第一回の応募締切は来年2月28日。「7つの習慣」セ

ミナー講師などによる厳選なる選考の後、来年の4月上旬に入賞者を発表します。大賞は10万円相当の商品と「7つの習慣」公開コース受講権、その他応募者全員にコヴィー博士の講演DVDをプレゼントします。

弊社は、この大賞を毎年開催することにより、望む結果を得たい方々を継続的にサポートしていきたいと考えています。

詳しい応募要項などは、『7つの習慣』大賞創設に合わせて開設するサイト「7 Habits.jp」にてご確認下さい。



12月12日にオープンするサイト、7Habits.jp

- ▶ 真の効果性を目指すビジネスパーソンのための 7Habits.jp
http://7habits.jp

- ▶ フランクリン・コヴィー・ジャパン公式
<http://www.franklincovey.co.jp/>

- ▶「7つの習慣」全文無料公開ページ
<http://7habits.jp/bookread.html>

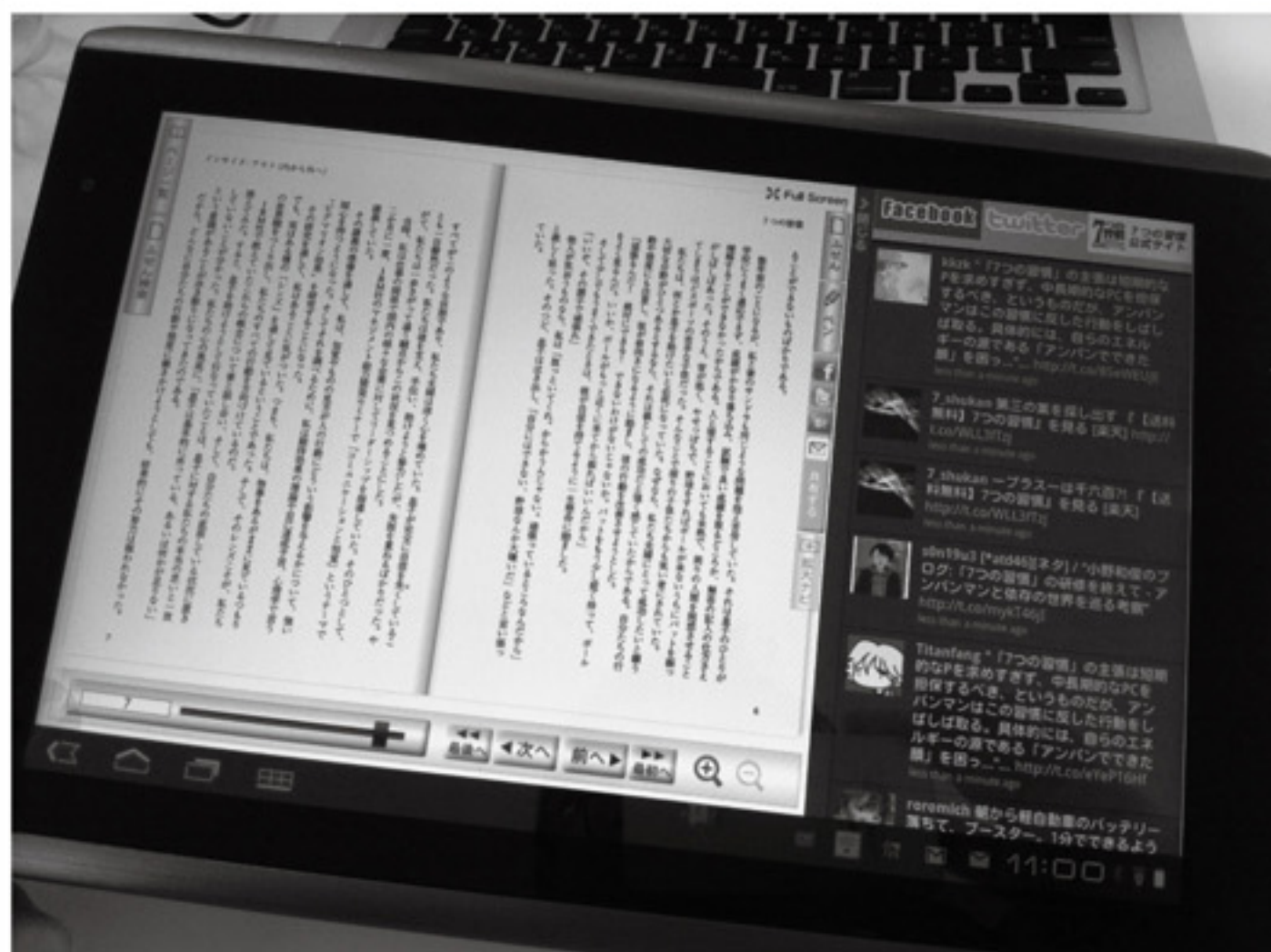
- ▶新しいビジネス・スキル・コンテンツ WEB サイト Effectiveness.jp
http://effectiveness.jp/

- ▶「7つの習慣」Facebook ページ
<http://www.facebook.com/7habitsjp>

- Twitter 公式 @FranklinCoveyJ
Covey 博士 Bot @CobeyBot

- ▶ フランクリン・プランナー・ジャパン公式
<http://www.franklinplanner.co.jp/>

- ▶ フランクリン・プランナー八重洲地下街本店 Facebook ページ
<http://www.facebook.com/FPYaesu>



WEB ブラウザー上で動作する Flash プログラムですので、Windows、Mac だけでなく写真のように Android タブレットなどでも動作します (iPhone、iPad では動作しません)。

弊社は、『7つの習慣』大賞との連動企画として、12月16日より、ソーシャル・ブック・リーダーによる『7つの習慣』の全文無料公開を行います。

このリーダープログラムの本文を読めるだけではなく、感想や気づいたことなどをツイッターやフェイスブック上で共有

できます。ソーシャルで深い理解を得られる新しい読書をWEB上で体験できるものです。

上記URLでメールアドレスを登録するだけで全文無料でお読みいただけます。

第一部の公開は来年1月8日まで、その後、随時各習慣を公開する予定。

日本初!! ソーシャルブック・リーダー!!
による全文無料公開

『7つの習慣』などの書籍を学校に寄贈 「フランクリン・コヴィー・ジャパンの活動報告」

3月11日に発生した東日本大震災に関して、わたしたちフランクリン・コヴィー・ジャパンは、①東北地方へのボランティア派遣、②教育機関に対する義援金及び書籍の寄贈、無料セミナーの提供という3つの活動を継続的に行っています。

11月は書籍の寄贈の活動を中心に行いました。わたしたちは被災された学校を中心に、

書籍の寄贈を呼びかけ、来年1月までに東北地方を中心とした68校に約750冊の書籍を寄贈することにしました。そして11月10日、11日の二日間、弊社副社長の竹村が、そのうちの6校に直接書籍をお届けに伺いました。

「時間管理」はビジネスパーソンにとって永遠のテーマですが、長く引く不況に加え、震災の影響で、企業がさらなるリストラや合理化を迫られる中、今まで以上にその重要性が増しています。

弊社ではこれまで書籍『TQ心の安らぎを発見する時間管理の探求』や関連するセミナーを通して、時間管理のコンテンツを提供してまいりました。そこで、

本書では、主に行動管理を目的とする初期の時間管理を「タイム・マネジメント1.0」と定義。時間管理の概念とツールの変遷を追いながら、「長期的役割・相乗効果」をコンセプトとする「タイム・マネジメント4.0」の考え方を事例やツールを紹介しながらお伝えします。

今回は、今までの私たちのコンテンツに触れたことのない方々にも広くお伝えしたいという考えから、プレジデント社からの



「時間管理」はビジネスパーソンにとって永遠のテーマですが、長く引く不況に加え、震災の影響で、企業がさらなるリストラや合理化を迫られる中、今まで以上にその重要性が増しています。

弊社ではこれまで書籍『TQ心の安らぎを発見する時間管理の探求』や関連するセミナーを通して、時間管理のコンテンツを提供してまいりました。そこで、

本書では、主に行動管理を目的とする初期の時間管理を「タイム・マネジメント1.0」と定義。時間管理の概念とツールの変遷を追いながら、「長期的役割・相乗効果」をコンセプトとする「タイム・マネジメント4.0」の考え方を事例やツールを紹介しながらお伝えします。

今回は、今までの私たちのコンテンツに触れたことのない方々にも広くお伝えしたいという考えから、プレジデント社からの